２０２０年１１月２５日
東京電力ﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ株式会社
福　島　復　興　本　社

福島復興本社における
賠償・除染・復興推進等に関する取り組み状況
～福島復興への責任を果たすために～

○ 原子力損害賠償の進捗状況 ―――――― １ ～ ２
○ 福島復興へ向けた取り組み ―――――― ３ ～ ７

原子力損害賠償の進捗状況について

＜原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績＞

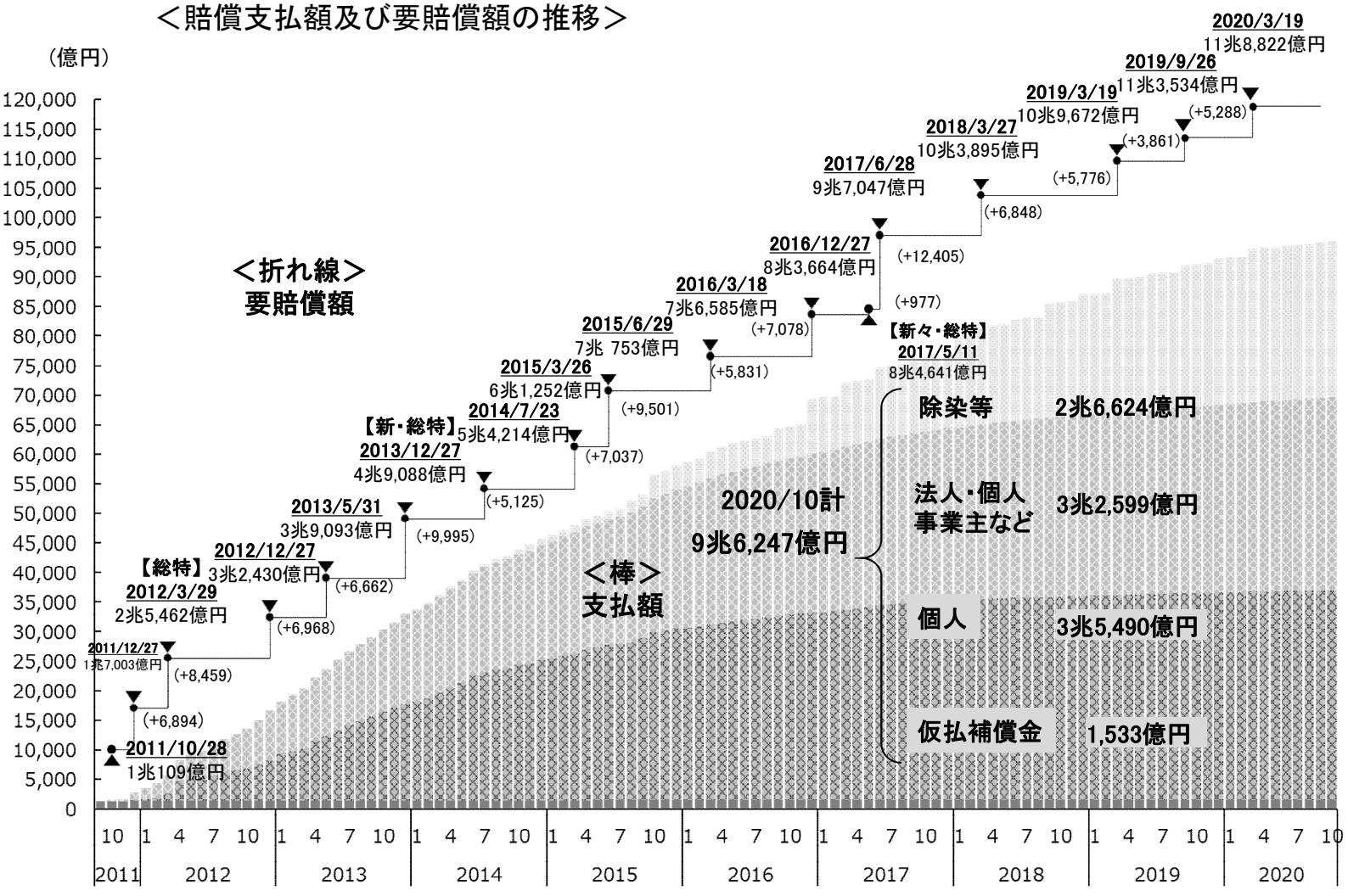
2020年10月31日現在

	個人　※1	法人・個人 事業主など	
ご請求について			
ご請求書受付件数（延べ件数）	**約2,431,000件**	**約516,000件**	
本賠償の状況について			
本賠償の件数（延べ件数）	**約2,296,000件**	**約443,000件**	
本賠償の金額　※2	**約3兆5,490億円**	**約5兆9,224億円**	
これまでのお支払い金額について			
本賠償の金額　※2		**約9兆4,714億円**	①
仮払補償金		**約1,533億円**	②
お支払い総額		**約9兆6,247億円**	①＋②

※1　個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2　仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。

＜賠償支払額及び要賠償額の推移＞



＜賠償項目別の合意金額の状況＞

	要賠償額<A> （3/19資金援助額変更申請）	合意いただけた実績※1<B> （2020年10月末現在）
Ⅰ．個人の方に係る項目	**20，713億円**	**19，965億円**
検査費用等	3，424億円	2，773億円
精神的損害	10，967億円	10，886億円
自主的避難等	3，625億円	3，625億円
就労不能損害	2，695億円	2，680億円
Ⅱ．法人・個人事業主の方に係る項目	**31，140億円**	**30，504億円**
営業損害	5，390億円	5，360億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	18，477億円	18，432億円
一括賠償（営業損害、風評被害等）	3，234億円	2，554億円
間接損害等その他	4，038億円	4，157億円
Ⅲ．共通・その他	**21，934億円**	**19，143億円**
財物価値の喪失又は減少等	15，187億円	14，347億円
住居確保損害	6，497億円	4，546億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
Ⅳ．除染等※2	**45，033億円**	**26，624億円**
合計	**118，822億円**	**96，237億円**

※1　振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。　【B／A　80%】
※2　閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

＜ご案内を開始している主な賠償項目＞

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月：個人本賠償 （・精神的損害　・就労不能等に伴う損害　・検査費用 ・避難、帰宅、一時立入費用　・生命、身体的損害　等）	9月：法人本賠償 （・営業損害　・出荷制限指示等による損害 ・風評被害　・間接損害　等）
2012年	2月：自動車に対する賠償　自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月：建物の修復費用等に係る賠償	2月：自動車に対する賠償 12月：償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月：宅地・建物・借地権等に係る賠償　、　家財の賠償 11月：田畑に係る賠償	3月：宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月：田畑に係る賠償
2014年	1月：精神的損害（要介護者さま等への増額）に係る賠償 3月：移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償　、　仏壇の賠償 4月：住居確保に係る費用の賠償 7月：墓石等の修理に係る賠償 9月：宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償　、　自主的除染に係る費用の賠償	9月：宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月：家財の個別賠償 3月：福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月：墓石等の移転に係る賠償 6月：避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月：避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月：新たな営業損害賠償等
2016年	2月：住居確保費用（持ち家）の賠償における賠償上限金額の見直し	12月：農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月：住居確保費用（持ち家）の賠償における賠償上限金額の見直し	12月：平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月：移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月：2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	8月：2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評被害について
2019年	2月：住居確保費用（持ち家）の賠償における賠償上限金額の見直し 9月：消費税率引上げにともなう住居確保費用（持ち家）の賠償における賠償上限金額の見直し	

＜ADRの対応状況＞

2020年10月27日現在

申立件数		26,207件
解決件数		25,524件
	全部和解件数	20,432件
	取下げ件数	2,879件
	打切り件数	2,211件
	却下	1件
	和解の仲介をしない	1件
現在進行中の件数		683件

※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは26,077件（10月30日現在）、月平均で約61件（2020年）
※現在進行中の件数のうち、12件は一部和解が成立している
※和解金額は約3,294億円

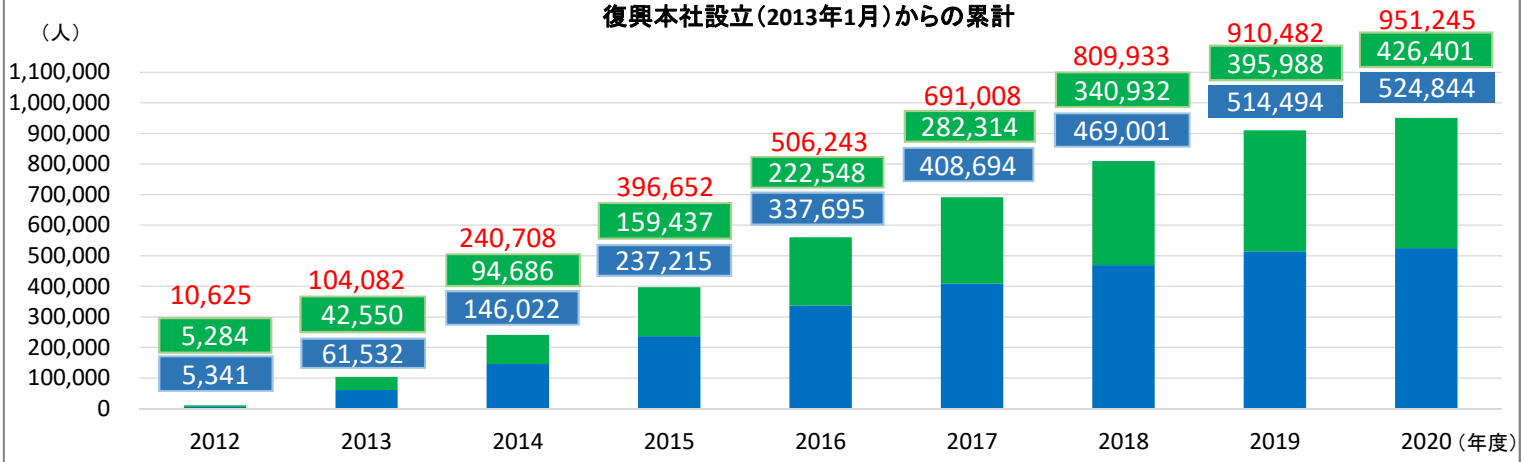
出典：原子力損害賠償紛争解決センターHPより

福島復興へ向けた取り組み

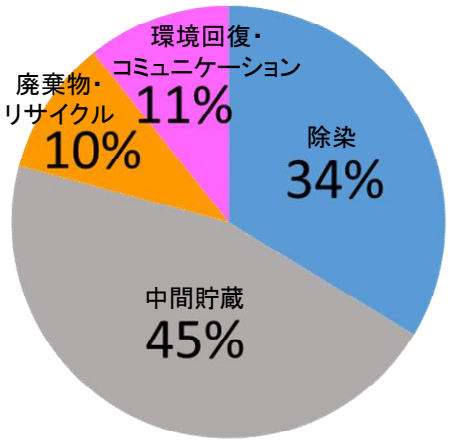
2020年10月の活動実績

除染等推進活動	4,648人
復興推進活動	1,827人
活動実績合計	6,475人

福島復興へ向けた活動実績
復興本社設立（2013年1月）からの累計

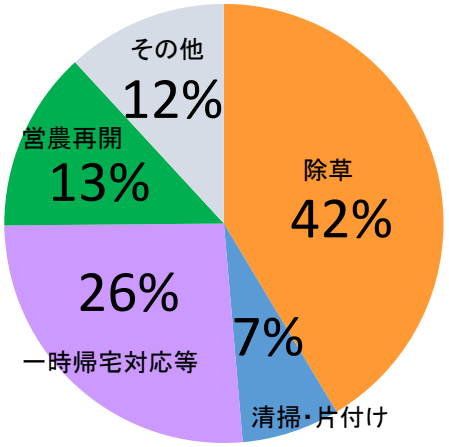


除染等推進活動の内訳（2020年度）



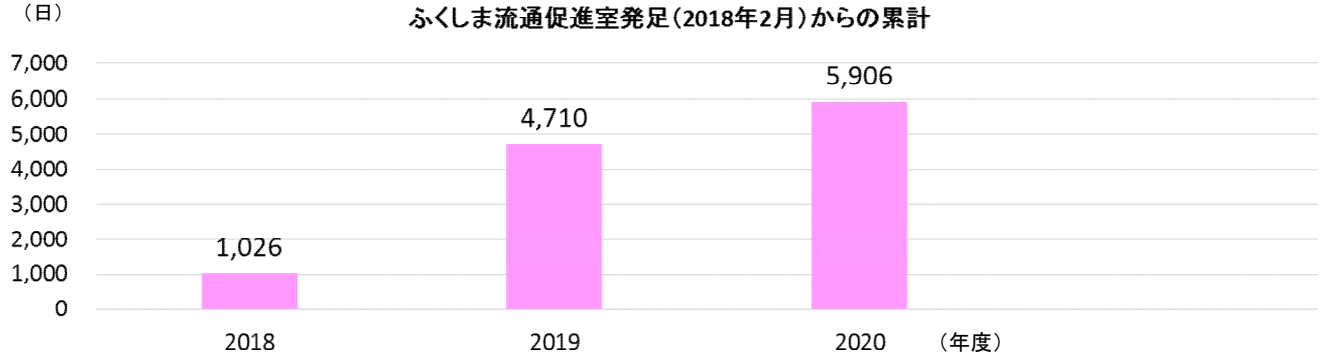
＜参考＞除染・復興活動の到達実績
- 10万人到達･･･2014年 9月12日（復興）
  2015年 5月 7日（除染）
- 20万人到達･･･2015年10月15日（復興）
  2016年11月18日（除染）
- 30万人到達･･･2016年11月 3日（復興）
  2018年 7月17日（除染）
- 40万人到達･･･2018年 2月 1日（復興）
  2020年 4月27日（除染）
- 50万人到達･･･2019年11月 6日（復興）

復興推進活動の内訳（2020年度）



流通促進活動＜イベント開催＞ 529日

流通促進活動実績＜イベント開催＞
ふくしま流通促進室発足（2018年2月）からの累計



※イベント開催･･･試食販売会・飲食店フェア・マルシェ

福島復興へ向けた取り組み①

雑草対策・景観向上のためのカバープランツ共同調査の開始

実施時期	2020年10月１日　～　継続中
実施場所	浪江町　町有地（180㎡）
実施人数	社員　延べ30人
実施内容	➢ 除染・解体作業完了後の宅地は、保全作業が行き届かない場合、雑草が繁茂してしまい、景観の低下のみならず、鳥獣被害問題も深刻化してしまう ➢ 地表を覆う(カバーする)ように生育するカバープランツによる雑草対策を施すことを浪江町へ提案し、町有地を活用した雑草対策や鳥獣被害の削減効果について共同調査を開始することができた (10月:播種・苗の植え込み作業、水やり、看板設置　　11月：水やり) ➢ 景観向上や避難されている方々の帰還意欲の醸成、管理コスト削減や鳥獣被害の削減につながるよう、今後も取り組んでいく
今後の予定	2020～2022年度:生育状況を観察、鳥獣への忌避効果の有効性確認・評価

実施場所

苗の植え込み作業風景

配置イメージ

主な植栽植物

福島復興へ向けた取り組み②

新たな特産品づくりに向けた営農活動のお手伝い

実施時期	2020年　４月～10月【楢葉町】 2020年　５月～10月【川内村】
実施場所	楢葉町、川内村
実施人数	社員　延べ　887人（楢葉町：740人，川内村：147人）
実施内容	・地域の特産品づくりにより新しい営農モデルや６次産業化※を目指す楢葉町と川内村において、サツマイモと葡萄の収穫まで一年を通してお手伝い ※農業や水産業などの第一次産業が食品加工・流通販売にも業務展開している経営形態 **【楢葉町】** ・４月から除草作業や電気柵の設置、定植作業等に続き、サツマイモの成長に影響を及ぼす雑草の除草に加えて、９～10月に収穫作業を実施 ・11月７日に楢葉町で開催された「ならSUNフェス」では収穫したサツマイモが地域の皆さまに振る舞われた **【川内村】** ・５月からの圃場（ほじょう）整備に続き、今回は７～８月にレインガード設置、９月は防鳥ネット設置、10月は収穫作業を実施 ・地元の方々や川内村職員の皆さまと協力し、初めての葡萄収穫作業や川内小学校葡萄収穫の体験学習において、収穫時のサポートや運搬等、補助員として協力 ・今回、初のワイン醸造が行われると伺い、「かわうちワイン」が地域の特産品として広く県内外の皆さまに知っていただけるよう、お手伝いを継続していく

楢葉町

苗の定植
【2020年６月２日撮影】

夏場の除草
【2020年８月４日撮影】

サツマイモ収穫
【2020年９月29日撮影】

川内村

レインガード設置
【2020年７月13日撮影】

葡萄収穫
【2020年10月４日撮影】

地元小学校の体験学習でのお手伝い
【2020年10月13日撮影】

福島復興へ向けた取り組み③

福島県産品の流通促進に向けた取り組み

【「発見！ふくしま」キャンペーン ～至近のイベント状況等～】

福島県産品販売会（10月実績）

- 10月3日から実施している「発見！ふくしま」キャンペーン期間中、首都圏の百貨店・スーパーマーケットや福島県内地元スーパーマーケットにおいて、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しつつ福島県産品の販売会を多数開催
  - 首都圏の小田急百貨店様4店舗（新宿店本館・ハルク、町田店、ふじさわ）では専門店街のテナントと連携し、「発見！ふくしま」パッケージの福島県産新米、福島牛、水産物等を販売。パッケージ米や牛肉は全店で完売した
  - 同新宿店本館・ハルクでは、飲食店13店舗が初参加し、福島県産食材を使用したメニューを提供する等、百貨店全体で一体感のあるフェアを演出。また、対象店舗で飲食されたお客さまを対象に福島県産品プレゼントの引換券を進呈。引換券は100%に近い回収率となり、店舗よりお客さまの反応もよく魅力的な内容との評価をいただいた
  - 販売会の会場モニターで放映した福島県産食材・観光の情報やパンフレットの評判もよく、パンフレットをお持ち帰りになるお客さまも多数見られた
  - 福島県内のスーパーマーケットいちい様やスーパーマルト様で開催した販売会においても、店舗の方から「県産品をまとめて扱う、統一感のある催事ができた」「今後も継続したい」などの評価をいただいた

【首都圏】 小田急百貨店様販売会（左：ふじさわ　中央・右：新宿店本館・ハルク（右：福島県産食材を使用したメニューイメージ））

【福島県】スーパーマーケットいちいグループ様販売会

【福島県】 スーパーマルト様販売会

「発見！ふくしま」パッケージ米

エリア	開催場所	開催日	販売内容
福島県	スーパーマーケット いちいグループ様　15店舗	2020年10月16日～ 10月20日	・福島県産食材：米、牛肉、野菜、水産物等
福島県	スーパーマルト様 いわき地区24店舗	2020年10月22日～ 10月25日	・福島県産食材：米、野菜、果物、水産物等
首都圏	大丸松坂屋百貨店様 大丸東京店	2020年10月21日～ 11月 3 日	・福島県産食材：福島牛、水産物、野菜、 浜通り地域の高等学校4校（いわき海星、平商業、ふたば未来学園、相馬農業）の生徒考案商品等
首都圏	小田急百貨店様　4店舗 （新宿店本館・ハルク、 町田店、ふじさわ）	2020年10月30日～ 11月 1 日 (飲食店は10月30日～ 11月10日)	・福島県産食材：米、福島牛、水産物等 ・新宿店本館・ハルクでは、飲食店13店舗が参加し、福島県産食材を使用したメニューを提供

・12月も首都圏を中心に小売店や飲食店にて販売会・フェアを開催予定

※主な販売会実績を掲載

福島復興へ向けた取り組み④

福島県産品の流通促進に向けた取り組み

【「発見！ふくしま」キャンペーン ～至近のイベント状況等～】

雑誌「東京カレンダー（11/21発売）」とコラボした飲食店フェア

- 東京カレンダーとタイアップし、都内などで人気の飲食店9店舗が約1ヶ月間、福島県産食材を使用したメニューを提供するとともに、同雑誌 1月号で全8ページにわたりフェアの内容や福島県産品の魅力を伝える記事を掲載

東京カレンダー　1月号表紙

誌面での飲食店フェア実施店舗、メニュー紹介

発見！ふくしまお魚まつりby デリバリー＆テイクアウト

- コロナ禍での巣ごもり需要も踏まえ、都内5箇所を拠点に福島県産の水産物「常磐もの」等を使用したメニュー9品を特設サイトで販売し、ご自宅へお届けする、日本初となるデリバリー＆テイクアウトフェス“ジャパンフィッシャーマンズフェスティバル 発見！ふくしまお魚まつりby デリバリー＆テイクアウト” を11月26日(木)より5日間開催

特設サイトイメージ

福島県産水産物等を使用したメニュー9品

ECサイトを活用した福島県産品販売・プレゼント企画

- ECサイト“ふくしま市場”において、先着5,000名様が最大30%オフで旬の新米やあんぽ柿などの福島県産品を購入できるフェアを開催中
  - 特設サイトでは、クイズ等にお答えいただき、計4,000名様に福島県産品を抽選プレゼントする企画も12月18日（金）まで実施中
  - この機会を通じて、全国のご家庭に福島県産品の美味しさや魅力をお届けしたい

特設サイトイメージ